

磐田市立総合病院 臨床研修プログラム

(030389202)

令和7年度

〒438-8550 磐田市大久保512-3

TEL 0538 (38) 5000

FAX 0538 (38) 5050

目次

1	名 称	3
2	プログラムの目的と特徴	3
3	プログラム責任者と施設の概要	
	(1)プログラム責任者	3
	(2)施設の概要	3
	(3)指導医リスト	5
4	プログラムの管理運営体制	1 8
5	定 員	1 8
6	研修医の募集方法	1 8
7	教育課程	
	(1)研修の実施要領	1 8
	(2)研修内容と到達目標	1 9
	(3)教育に関する行事	2 1
	(4)指導体制	2 3
8	研修医の評価	2 3
9	研修プログラム、指導医の評価	2 4
1 0	プログラム修了の認定及び証書の交付	2 4
1 1	プログラム修了後の進路	2 4
1 2	研修医の身分	2 6
1 3	研修医の応募手続	2 7
別紙1	研修管理委員会	2 8
別紙2	各科カンファレンス	2 9

磐田市立総合病院初期臨床研修プログラム

1 名 称

磐田市立総合病院初期臨床研修プログラム（以下「プログラム」という。）

2 プログラムの目的と特徴

(1) 目 的

プログラムは、医師免許取得後の2年間を対象とし、将来、医師として成長するに当たり、1) 患者を全人的に診るための基本的診療能力を身に付け、2) 高度専門医療に対する学術的興味を持ち、3) 地域医療の重要性を体得するとともに、4) 医の倫理に基づく社会的良識を持ち、5) 患者や家族から信頼される医師となることを目的とする。

(2) 特 徴

ア 2年間を通じてローテーション方式とする。内科、外科、小児科、精神科、救急、地域医療を必修科目としている。また、一般外来での研修を含める。

イ 5月間を選択として、すべての専門科から自由に選びローテーション研修期間にあてることができる。

ウ 協力型臨床研修病院は、浜松医科大学附属病院、菊川市立総合病院及び精神科（3病院）とする。

エ 臨床研修協力施設は、公立森町病院、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センターとする。

なお、地域医療研修の一環として、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センターで研修を行う。また、公立森町病院、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、磐田在宅医療クリニック、えん在宅医療クリニックでは在宅医療を学ぶことができる。

オ 海外の指導医師の招へいや短期海外派遣研修を平成20年度から実施している。

3 プログラム責任者、副プログラム責任者と施設の概要

(1) プログラム責任者：妹川 史朗

副プログラム責任者：寺田 雅彦

(2) 施設の概要

ア 磐田市立総合病院は、平成10年に磐田市北部に移転新築され、診療科21科、病床500床に整備された。診療圏は、約16万人であり、磐南地域の中核病院の役割を果たしている。移転新築後は、今まで以上に患者の療養環境に配慮し、また、現在の高度医療水準を充たす最新の診断・治療機器を整備した。更に疾病の早期発見・予防のための健診センターを併設し、集中治療病棟、周産期医療、リハビリ部門、救急室の新設・拡充に加え、地域医師会とのコミュニケーションのための会議室を新設し、看護師をはじめとする医療スタッフの研修の場を充実した。全職員が「医療の原点は思いやり」をモットーとして、地域の人々に信頼され、愛される病院を目指している。また、平成1

2 年度に臨床研修指定病院に認定された。

【病床数】 一般病床 4 9 8 床、感染病床 2 床

【診療科目】

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、リウマチ科、腎臓内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、緩和医療科、病理診断科、糖尿病・内分泌内科、乳腺外科、臨床検査科、肝臓内科、リハビリテーション科の 3 4 科

【病院機能評価】

財団法人日本医療機能評価機構の認定病院

(平成 15 年 12 月 15 日 認定 、 平成 21 年 1 月 19 日 更新)

イ 協力型臨床研修病院

施設の名称	研修科目(期間)	所在地	電話番号
浜松医科大学病院	内科 (1 月) 選択科 定めなし (1 月)	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20-1	0538-435-2865
菊川市立総合病院	精神科 (1 月)	〒439-0022 菊川市東横地 1 6 3 2	0537-35-2135
福田西病院	精神科 (1 月)	〒437-0216 福田町一色 2 2	0538-58-1175
服部病院	精神科 (1 月)	〒438-0026 磐田市西貝塚 3781-2	0538-32-7121
磐田原病院	精神科 (1 月)	〒438-0002 磐田市大久保 42-15	0538-38-0621

ウ 臨床研修協力施設

施設の名称	研修科目(期間)	所在地	電話番号
公立森町病院	地域医療 (1 月) 内科 (1 月)	〒437-0214 周智郡森町草ヶ谷 391-1	0538-85-2181
森町家庭 医療クリニック	地域医療 (1 月)	〒437-0214 周智郡森町草ヶ谷 387-1	0538-85-1340
菊川市家庭医療センター	地域医療 (1 月)	〒437-1507 菊川市赤土 1055-1	0537-73-2267
御前崎市家庭医療センター	地域医療 (1 月)	〒437-1622 御前崎市白羽 3521-10	0548-23-3211
磐田在宅医療クリニック	地域医療 (1 月)	〒438-0086 磐田市見付 1752-5	0538-31-3904
えん在宅医療クリニック	地域医療 (1 月)	〒438-0045	0538-38-9559

		磐田市上岡田 776-7A	
--	--	---------------	--

(3) 指導医リスト

診療科 (担当分野)	指導責任者 (氏名)	所 属	職 名	臨床 経験 年数
内科（呼吸器内科）	妹川 史朗	磐田市立総合病院	副病院長兼教育センター長	36年
内科（腎臓内科）	深澤 洋敬	磐田市立総合病院	第1医療部長兼腎臓内科部長	30年
内科（血液内科）	深津 有佑	磐田市立総合病院	科 長	18年
内科（腎臓内科）	金子 真以	磐田市立総合病院	科 長	11年
内科（脳神経内科）	藤本 正也	磐田市立総合病院	第1医療副部長	37年
内科（呼吸器内科）	原田 雅教	磐田市立総合病院	科 長	21年
内科（呼吸器内科）	佐竹 康臣	磐田市立総合病院	科 長	19年
内科（呼吸器内科）	松島 紗代実	磐田市立総合病院	科 長	18年
内科（消化器内科）	西野 眞史	磐田市立総合病院	教育センター副センター長	24年
内科（消化器内科）	笹田 雄三	磐田市立総合病院	科 長	35年
内科（循環器内科）	松永 正紀	磐田市立総合病院	理事	31年
内科（循環器内科）	榎原 智晶	磐田市立総合病院	科 長	15年
内科（糖尿病・内分泌内科）	飯野 和美	磐田市立総合病院	科長	35年
内科（糖尿病・内分泌内科）	糟谷 真樹子	磐田市立総合病院	科長	18年
小児科	遠藤 彰	磐田市立総合病院	副病院長兼小児科部長	40年
小児科	平野 恵子	磐田市立総合病院	科 長	25年
小児科	大高幸之助	磐田市立総合病院	科 長	19年
外科（消化器外科）	鈴木 昌八	磐田市立総合病院	病院事業管理者	43年
外科（消化器外科）	坂口 孝宣	磐田市立総合病院	副病院長兼消化器外科部長	35年
外科（消化器外科）	松本 圭五	磐田市立総合病院	理事	33年
外科（消化器外科）	深澤 貴子	磐田市立総合病院	科 長	29年
外科（消化器外科）	宇野 彰晋	磐田市立総合病院	科 長	28年
外科（消化器外科）	神藤 修	磐田市立総合病院	科 長	27年
外科（消化器外科）	川端 俊貴	磐田市立総合病院	科 長	25年
外科（消化器外科）	鈴木 克徳	磐田市立総合病院	科 長	13年
外科（血管外科）	斉藤 貴明	磐田市立総合病院	科 長	21年
外科（呼吸器外科）	望月 孝裕	磐田市立総合病院	第2医療部長	26年
形成外科	谷口佳代子	磐田市立総合病院	科 長	16年
整形外科	山崎 薫	磐田市立総合病院	病院長	42年
整形外科	猿川潤一郎	磐田市立総合病院	整形外科部長	23年

脳神経外科	天野 慎士	磐田市立総合病院	脳神経外科部長	25年
泌尿器科	水野 卓爾	磐田市立総合病院	泌尿器科部長	34年
泌尿器科	青木 高広	磐田市立総合病院	科 長	27年
産婦人科	徳永 直樹	磐田市立総合病院	副部長兼産婦人科部長兼周産期母子医療センター長	38年
産婦人科	小田木 秋人	磐田市立総合病院	医 長	10年
耳鼻咽喉科	泉 智沙子	磐田市立総合病院	科 長	21年
放射線診断科	大川 賀久	磐田市立総合病院	放射線診断科部長	35年
麻酔科	山口 昌一	磐田市立総合病院	麻酔科部長	26年
病理診断科	鈴木 潮人	磐田市立総合病院	病理診断科部長	27年
救急科	一谷 真一	磐田市立総合病院	救命救急センター長	10年
緩和医療科	中澤 秀雄	磐田市立総合病院	第3医療部長兼緩和医療科部長	34年
精神科	大城 将也	菊川市立総合病院	医 長	22年
精神科	大木 史隆	福田西病院	院 長	18年
精神科	山名 純一	服部病院	病院長	39年
精神科	辛島 敬士	磐田原病院	病院長	31年
地域医療	中村 昌樹	公立森町病院	院 長	38年
地域医療	大場 浩次	公立森町病院	副院長	31年
地域医療	水野 義仁	公立森町病院	副院長	42年
地域医療	児玉 乾	公立森町病院	医 長	16年
地域医療	松家 健一	公立森町病院	医 長	15年
地域医療	棚橋 信子	森町家庭医療クリニック	所 長	10年
地域医療・内科	二見 肇	菊川市立総合病院	副院長	36年
地域医療	藩 鎮敬	菊川市家庭医療センター	指導医	11年
地域医療	吉野 弘	御前崎市家庭医療センター	所 長	24年
地域医療	綱分 信二	御前崎市家庭医療センター	科 長	14年
地域医療	井上真智子	御前崎市家庭医療センター	地域医療学講座特任教授	25年
地域医療	樋口 智也	御前崎市家庭医療センター	地域医療学講座特任教授	10年
地域医療	福本 和彦	磐田在宅医療クリニック	理事長	25年
地域医療	安間 章裕	えん在宅医療クリニック	院 長	14年
選択	大橋温	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任准教授	27年
内科	杉本健	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一教授	30年
内科	安田日出夫	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一准教授	28年
内科	濱屋寧	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科講師	24年
内科	山出美穂子	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科助教	22年
内科	藤倉知行	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科助教	22年
内科	田村智	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一助教	15年

内科	岩倉考政	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科診療助教	18年
内科	磯部伸介	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科診療助教	8年
内科	中村友彦	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経内科特任教授	28年
内科	武内智康	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経内科助教	13年
内科	須田隆文	浜松医科大学医学部附属病院	理事・副学長	37年
内科	川田一仁	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二准教授	24年
内科	松下明生	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科講師	30年
内科	藤澤朋幸	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科講師	26年
内科	山下美保	浜松医科大学医学部附属病院	国際化推進センター特任准教授	25年
内科	大場健司	浜松医科大学医学部附属病院	医学教育推進センター特任講師	22年
内科	鈴木勇三	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	21年
内科	則武秀尚	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	20年
内科	穂積宏尚	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	21年
内科	釣谷大輔	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	24年
内科	柿沢圭亮	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	16年
内科	伊藤潤	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	15年
内科	宮下晃一	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	11年
内科	小川法良	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科講師	38年
内科	早乙女雅夫	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科講師	28年
内科	大谷速人	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科特任講師	24年
内科	成瀬代士久	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	20年
内科	永田泰之	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	20年
内科	諏訪賢一郎	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	19年
内科	坂本篤志	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	19年
内科	下山久美子	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科助教	23年
内科	佐野誠	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科助教	18年
内科	竹村兼成	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	17年
内科	成味太郎	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	15年
内科	井口恵介	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	16年
内科	安達美和	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	14年
内科	内藤善隆	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科医員	18年
外科	船井和仁	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科特任教授	27年
外科	鷺山直己	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科講師	31年
外科	佐藤正範	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科講師	28年
外科	小泉圭	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第一助教	22年
外科	高梨裕典	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第一助教	14年

外科	関原圭吾	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科特任助教	14年
外科	竹内裕也	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二教授	31年
外科	菊池寛利	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二准教授	25年
外科	平松良浩	浜松医科大学医学部附属病院	周術期等生活機能支援学特任准教授	27年
外科	倉地清隆	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科講師	31年
外科	犬塚和徳	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科講師	26年
外科	森田剛文	浜松医科大学医学部附属病院	森町地域包括ケア講座特任講師	21年
外科	阪田麻裕	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二助教	17年
外科	片橋一人	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二助教	15年
外科	佐野真規	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科助教	20年
外科	坊岡英祐	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科特任助教	14年
救急部門	吉野篤人	浜松医科大学医学部附属病院	地域医療学特任教授	37年
救急部門	齊藤岳児	浜松医科大学医学部附属病院	“次世代創造医工情報教育センター”准教授	25年
救急部門	高橋善明	浜松医科大学医学部附属病院	救急部助教	21年
麻酔科（部門）	中島芳樹	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学教授	36年
麻酔科（部門）	五十嵐寛	浜松医科大学医学部附属病院	臨床医学教育学特任教授	35年
麻酔科（部門）	御室総一郎	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学准教授	22年
麻酔科（部門）	川島信吾	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学助教	18年
麻酔科（部門）	八木原正浩	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	22年
麻酔科（部門）	鈴木興太	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	20年
麻酔科（部門）	小林賢輔	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	17年
麻酔科（部門）	谷口美づき	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科診療助教	23年
麻酔科（部門）	西本久子	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科診療助教	13年
小児科	石川貴充	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学准教授	26年
小児科	福田冬季子	浜松医科大学医学部附属病院	浜松成育医療学講座（寄附講座）特任教授	34年
小児科	藤澤泰子	浜松医科大学医学部附属病院	小児科講師	26年
小児科	坂口公祥	浜松医科大学医学部附属病院	小児科講師	21年
小児科	夏目統	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学助教	17年
小児科	石垣英俊	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学助教	16年
小児科	清水大輔	浜松医科大学医学部附属病院	小児科助教	16年
周産母子センター	内田季之	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター准教授	28年
周産母子センター	鈴木一有	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科地域医療学講座（寄附講座）特任准教授	33年
周産母子センター	田村直顕	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター講師	23年
周産母子センター	上野大蔵	浜松医科大学医学部附属病院	地域周産期医療学講座（寄附講座）特任助教	16年
周産母子センター	内山弘基	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター助教	15年
周産母子センター	成瀬智	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター診療助教	18年

周産母子センター	増永陽平	浜松医科大学医学部附属病院	地域医療支援学講座（寄附講座）特任助教	13年
産婦人科	伊東宏晃	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科学教授	37年
産婦人科	村上浩雄	浜松医科大学医学部附属病院	産科婦人科講師	25年
産婦人科	新谷光央	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科学助教	20年
産婦人科	柴田俊章	浜松医科大学医学部附属病院	産科婦人科助教	20年
精神科	高貝就	浜松医科大学医学部附属病院	児童青年期精神医学特任教授	27年
精神科	竹林淳和	浜松医科大学医学部附属病院	精神科神経科講師	23年
精神科	和久田智靖	浜松医科大学医学部附属病院	精神科神経科講師	21年
精神科	横倉正倫	浜松医科大学医学部附属病院	精神医学助教	18年
精神科	亀野陽亮	浜松医科大学医学部附属病院	精神医学助教	17年
脳神経外科	鮫島哲朗	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学准教授	33年
脳神経外科	野崎孝雄	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科講師	32年
脳神経外科	小泉慎一郎	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科講師	22年
脳神経外科	根木宏明	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学助教	18年
脳神経外科	山崎友裕	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学助教	17年
脳神経外科	大石知也	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科助教	11年
脳神経外科	北濱義博	浜松医科大学医学部附属病院	先進ロボット手術開発学講座（寄附講座）特任助教	26年
整形外科	大和雄	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科科学准教授	26年
整形外科	大村威夫	浜松医科大学医学部附属病院	森町地域包括ケア講座（寄附講座）特任准教授	27年
整形外科	長谷川智彦	浜松医科大学医学部附属病院	長寿運動器疾患教育研究特任准教授	26年
整形外科	紫藤洋二	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科講師	26年
整形外科	吉田剛	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科講師	25年
整形外科	有馬秀幸	浜松医科大学医学部附属病院	次世代創造医工情報教育センター講師	17年
整形外科	大江慎	浜松医科大学医学部附属病院	長寿運動器疾患教育研究特任講師	16年
整形外科	堀田健介	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科診療助教	13年
皮膚科	伊藤泰介	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学准教授	28年
皮膚科	島内隆寿	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科講師	24年
皮膚科	影山玲子	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学助教	12年
皮膚科	鈴木健晋	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学助教	17年
皮膚科	福地健祐	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科助教	12年
泌尿器科	大塚篤史	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器学准教授	28年
泌尿器科	本山大輔	浜松医科大学医学部附属病院	先進ロボット手術開発学講座（寄附講座）特任准教授	21年
泌尿器科	田村啓多	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器科学助教	14年
泌尿器科	渡邊弘充	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器科学助教	11年
眼科	佐藤美保	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学准教授	37年
眼科	彦谷明子	浜松医科大学医学部附属病院	眼科講師	22年

眼科	古森美和	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学助教	18年
眼科	立花信貴	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学助教	15年
眼科	鳥居薫子	浜松医科大学医学部附属病院	眼科助教	15年
眼科	高山理和	浜松医科大学医学部附属病院	眼科助教	8年
耳鼻咽喉科	三澤清	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授	28年
耳鼻咽喉科	瀧澤義徳	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学准教授	22年
耳鼻咽喉科	今井篤志	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科講師	20年
耳鼻咽喉科	中西啓	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科講師	20年
耳鼻咽喉科	望月大極	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科助教	18年
耳鼻咽喉科	森田浩太郎	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科助教	13年
耳鼻咽喉科	喜寿淳哉	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学助教	12年
耳鼻咽喉科	佐原聡甫	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科診療助教	11年
耳鼻咽喉科	三澤由幾	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科医員	23年
放射線科	五島聡	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学教授	45年
放射線科	市川新太郎	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学准教授	18年
放射線科	尾崎公美	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科特任准教授	21年
放射線科	那須初子	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科講師	29年
放射線科	牛尾貴輔	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学助教	21年
放射線科	小西憲太	浜松医科大学医学部附属病院	放射線腫瘍学助教	17年
放射線科	芳澤暢子	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科助教	22年
放射線科	川村謙士	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科診療助教	11年
“臨床薬理 内科”	渡邊裕司	浜松医科大学医学部附属病院	理事・副学長	40年
“臨床薬理 内科”	梅村和夫	浜松医科大学医学部附属病院	薬理学教授	39年
“臨床薬理 内科”	乾直輝	浜松医科大学医学部附属病院	臨床薬理学教授	30年
“臨床薬理 内科”	龍口万里子	浜松医科大学医学部附属病院	臨床薬理学助教	29年
リハビリテーション科	山内克哉	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション医学教授	29年
リハビリテーション科	永房鉄之	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション部助教	26年
リハビリテーション科	高橋麻美	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション科診療助教	13年
形成外科	中川雅裕	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科学教授	32年
形成外科	瀧口徹也	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科助教	15年
形成外科	太田悠介	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科診療助教	14年
小児外科	澤井利夫	浜松医科大学医学部附属病院	小児外科特任准教授	34年
病理診断科	土田孝	浜松医科大学医学部附属病院	病理部助教	27年
病理診断科	目黒史織	浜松医科大学医学部附属病院	再生・感染病理学助教	17年
病理診断科	後藤真奈	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	19年
病理診断科	藤広麻由	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	14年

病理診断科	津久井宏恵	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	13年
集中治療部	青木善孝	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部助教	19年
集中治療部	鈴木祐二	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部診療助教	16年
集中治療部	桂川孝行	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部診療助教	13年
検査部	岩泉守哉	浜松医科大学医学部附属病院	検査部准教授	24年
選択	石垣さやか	浜松医科大学医学部附属病院	血液浄化療法部診療助教	16年
選択	辻尚子	浜松医科大学医学部附属病院	血液浄化療法部診療助教	16年
選択	花田充	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任講師	21年
選択	片橋尚子	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任助教	14年
選択	小野孝明	浜松医科大学医学部附属病院	輸血細胞治療部准教授	26年
選択	小田切圭一	浜松医科大学医学部附属病院	臨床研究センター准教授	25年
選択	安井秀樹	浜松医科大学医学部附属病院	臨床研究センター特任講師	20年
選択	鈴木明	浜松医科大学医学部附属病院	医療安全管理室特任准教授	32年
選択	栗田忠代士	浜松医科大学医学部附属病院	手術部准教授	33年
選択	大澤恵	浜松医科大学医学部附属病院	光学医療診療部講師	30年
選択	山田貴教	浜松医科大学医学部附属病院	光学医療診療部特任助教	24年
選択	古橋一樹	浜松医科大学医学部附属病院	感染制御センター特任講師	22年
選択	大橋温	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任准教授	27年
内科	杉本健	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一教授	30年
内科	安田日出夫	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一准教授	28年
内科	濱屋寧	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科講師	24年
内科	山出美穂子	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科助教	22年
内科	藤倉知行	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科助教	22年
内科	田村智	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第一助教	15年
内科	岩倉考政	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科診療助教	18年
内科	磯部伸介	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科診療助教	8年
内科	中村友彦	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経内科特任教授	28年
内科	武内智康	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経内科助教	13年
内科	須田隆文	浜松医科大学医学部附属病院	理事・副学長	37年
内科	川田一仁	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二准教授	24年
内科	松下明生	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科講師	30年
内科	藤澤朋幸	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科講師	26年
内科	山下美保	浜松医科大学医学部附属病院	国際化推進センター特任准教授	25年
内科	大場健司	浜松医科大学医学部附属病院	医学教育推進センター特任講師	22年
内科	鈴木勇三	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	21年
内科	則武秀尚	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	20年

内科	穂積宏尚	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第二助教	21年
内科	釣谷大輔	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	24年
内科	柿沢圭亮	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	16年
内科	伊藤潤	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	15年
内科	宮下晃一	浜松医科大学医学部附属病院	第二内科診療助教	11年
内科	小川法良	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科講師	38年
内科	早乙女雅夫	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科講師	28年
内科	大谷速人	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科特任講師	24年
内科	成瀬代士久	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	20年
内科	永田泰之	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	20年
内科	諏訪賢一郎	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	19年
内科	坂本篤志	浜松医科大学医学部附属病院	内科学第三助教	19年
内科	下山久美子	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科助教	23年
内科	佐野誠	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科助教	18年
内科	竹村兼成	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	17年
内科	成味太郎	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	15年
内科	井口恵介	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	16年
内科	安達美和	浜松医科大学医学部附属病院	第三内科診療助教	14年
内科	内藤善隆	浜松医科大学医学部附属病院	第一内科医員	18年
外科	船井和仁	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科特任教授	27年
外科	鷺山直己	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科講師	31年
外科	佐藤正範	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科講師	28年
外科	小泉圭	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第一助教	22年
外科	高梨裕典	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第一助教	14年
外科	関原圭吾	浜松医科大学医学部附属病院	第一外科特任助教	14年
外科	竹内裕也	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二教授	31年
外科	菊池寛利	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二准教授	25年
外科	平松良浩	浜松医科大学医学部附属病院	周術期等生活機能支援学特任准教授	27年
外科	倉地清隆	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科講師	31年
外科	犬塚和徳	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科講師	26年
外科	森田剛文	浜松医科大学医学部附属病院	森町地域包括ケア講座特任講師	21年
外科	阪田麻裕	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二助教	17年
外科	片橋一人	浜松医科大学医学部附属病院	外科学第二助教	15年
外科	佐野真規	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科助教	20年
外科	坊岡英祐	浜松医科大学医学部附属病院	第二外科特任助教	14年
救急部門	吉野篤人	浜松医科大学医学部附属病院	地域医療学特任教授	37年

救急部門	齊藤岳兒	浜松医科大学医学部附属病院	“次世代創造医工情報教育センター准教授”	25年
救急部門	高橋善明	浜松医科大学医学部附属病院	救急部助教	21年
麻酔科（部門）	中島芳樹	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学教授	36年
麻酔科（部門）	五十嵐寛	浜松医科大学医学部附属病院	臨床医学教育学特任教授	35年
麻酔科（部門）	御室総一郎	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学准教授	22年
麻酔科（部門）	川島信吾	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔・蘇生学助教	18年
麻酔科（部門）	八木原正浩	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	22年
麻酔科（部門）	鈴木興太	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	20年
麻酔科（部門）	小林賢輔	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科助教	17年
麻酔科（部門）	谷口美づき	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科診療助教	23年
麻酔科（部門）	西本久子	浜松医科大学医学部附属病院	麻酔科蘇生科診療助教	13年
小児科	石川貴充	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学准教授	26年
小児科	福田冬季子	浜松医科大学医学部附属病院	浜松成育医療学講座（寄附講座）特任教授	34年
小児科	藤澤泰子	浜松医科大学医学部附属病院	小児科講師	26年
小児科	坂口公祥	浜松医科大学医学部附属病院	小児科講師	21年
小児科	夏目統	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学助教	17年
小児科	石垣英俊	浜松医科大学医学部附属病院	小児科学助教	16年
小児科	清水大輔	浜松医科大学医学部附属病院	小児科助教	16年
周産母子センター	内田季之	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター准教授	28年
周産母子センター	鈴木一有	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科地域医療学講座（寄附講座）特任准教授	33年
周産母子センター	田村直顕	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター講師	23年
周産母子センター	上野大蔵	浜松医科大学医学部附属病院	地域周産期医療学講座（寄附講座）特任助教	16年
周産母子センター	内山弘基	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター助教	15年
周産母子センター	成瀬智	浜松医科大学医学部附属病院	周産母子センター診療助教	18年
周産母子センター	増永陽平	浜松医科大学医学部附属病院	地域医療支援学講座（寄附講座）特任助教	13年
産婦人科	伊東宏晃	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科学教授	37年
産婦人科	村上浩雄	浜松医科大学医学部附属病院	産科婦人科講師	25年
産婦人科	新谷光央	浜松医科大学医学部附属病院	産婦人科学助教	20年
産婦人科	柴田俊章	浜松医科大学医学部附属病院	産科婦人科助教	20年
精神科	高貝就	浜松医科大学医学部附属病院	児童青年期精神医学特任教授	27年
精神科	竹林淳和	浜松医科大学医学部附属病院	精神科神経科講師	23年
精神科	和久田智靖	浜松医科大学医学部附属病院	精神科神経科講師	21年
精神科	横倉正倫	浜松医科大学医学部附属病院	精神医学助教	18年
精神科	亀野陽亮	浜松医科大学医学部附属病院	精神医学助教	17年
脳神経外科	鮫島哲朗	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学准教授	33年
脳神経外科	野崎孝雄	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科講師	32年

脳神経外科	小泉慎一郎	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科講師	22年
脳神経外科	根木宏明	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学助教	18年
脳神経外科	山崎友裕	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科学助教	17年
脳神経外科	大石知也	浜松医科大学医学部附属病院	脳神経外科助教	11年
脳神経外科	北濱義博	浜松医科大学医学部附属病院	先進ロボット手術開発学講座（寄附講座）特任助教	26年
整形外科	大和雄	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科学准教授	26年
整形外科	大村威夫	浜松医科大学医学部附属病院	森町地域包括ケア講座（寄附講座）特任准教授	27年
整形外科	長谷川智彦	浜松医科大学医学部附属病院	長寿運動器疾患教育研究特任准教授	26年
整形外科	紫藤洋二	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科講師	26年
整形外科	吉田剛	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科講師	25年
整形外科	有馬秀幸	浜松医科大学医学部附属病院	次世代創造医工情報教育センター講師	17年
整形外科	大江慎	浜松医科大学医学部附属病院	長寿運動器疾患教育研究特任講師	16年
整形外科	堀田健介	浜松医科大学医学部附属病院	整形外科診療助教	13年
皮膚科	伊藤泰介	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学准教授	28年
皮膚科	島内隆寿	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科講師	24年
皮膚科	影山玲子	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学助教	12年
皮膚科	鈴木健晋	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科学助教	17年
皮膚科	福地健祐	浜松医科大学医学部附属病院	皮膚科助教	12年
泌尿器科	大塚篤史	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器学准教授	28年
泌尿器科	本山大輔	浜松医科大学医学部附属病院	先進ロボット手術開発学講座（寄附講座）特任准教授	21年
泌尿器科	田村啓多	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器科学助教	14年
泌尿器科	渡邊弘充	浜松医科大学医学部附属病院	泌尿器科学助教	11年
眼科	佐藤美保	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学准教授	37年
眼科	彦谷明子	浜松医科大学医学部附属病院	眼科講師	22年
眼科	古森美和	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学助教	18年
眼科	立花信貴	浜松医科大学医学部附属病院	眼科学助教	15年
眼科	鳥居薫子	浜松医科大学医学部附属病院	眼科助教	15年
眼科	高山理和	浜松医科大学医学部附属病院	眼科助教	8年
耳鼻咽喉科	三澤清	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授	28年
耳鼻咽喉科	瀧澤義徳	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学准教授	22年
耳鼻咽喉科	今井篤志	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科講師	20年
耳鼻咽喉科	中西啓	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科講師	20年
耳鼻咽喉科	望月大極	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科助教	18年
耳鼻咽喉科	森田浩太郎	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科助教	13年
耳鼻咽喉科	喜淳淳哉	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学助教	12年
耳鼻咽喉科	佐原聡甫	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科診療助教	11年

耳鼻咽喉科	三澤由幾	浜松医科大学医学部附属病院	耳鼻咽喉科医員	23年
放射線科	五島聡	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学教授	45年
放射線科	市川新太郎	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学准教授	18年
放射線科	尾崎公美	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科特任准教授	21年
放射線科	那須初子	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科講師	29年
放射線科	牛尾貴輔	浜松医科大学医学部附属病院	放射線診断学助教	21年
放射線科	小西憲太	浜松医科大学医学部附属病院	放射線腫瘍学助教	17年
放射線科	芳澤暢子	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科助教	22年
放射線科	川村謙士	浜松医科大学医学部附属病院	放射線科診療助教	11年
“臨床薬理 内科”	渡邊裕司	浜松医科大学医学部附属病院	理事・副学長	40年
“臨床薬理 内科”	梅村和夫	浜松医科大学医学部附属病院	薬理学教授	39年
“臨床薬理 内科”	乾直輝	浜松医科大学医学部附属病院	臨床薬理学教授	30年
“臨床薬理 内科”	龍口万里子	浜松医科大学医学部附属病院	臨床薬理学助教	29年
リハビリテーション科	山内克哉	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション医学教授	29年
リハビリテーション科	永房鉄之	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション部助教	26年
リハビリテーション科	高橋麻美	浜松医科大学医学部附属病院	リハビリテーション科診療助教	13年
形成外科	中川雅裕	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科学教授	32年
形成外科	瀧口徹也	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科助教	15年
形成外科	太田悠介	浜松医科大学医学部附属病院	形成外科診療助教	14年
小児外科	澤井利夫	浜松医科大学医学部附属病院	小児外科特任准教授	34年
病理診断科	土田孝	浜松医科大学医学部附属病院	病理部助教	27年
病理診断科	目黒史織	浜松医科大学医学部附属病院	再生・感染病理学助教	17年
病理診断科	後藤真奈	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	19年
病理診断科	藤広麻由	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	14年
病理診断科	津久井宏恵	浜松医科大学医学部附属病院	病理診断科診療助教	13年
集中治療部	青木善孝	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部助教	19年
集中治療部	鈴木祐二	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部診療助教	16年
集中治療部	桂川孝行	浜松医科大学医学部附属病院	集中治療部診療助教	13年
検査部	岩泉守哉	浜松医科大学医学部附属病院	検査部准教授	24年
選択	石垣さやか	浜松医科大学医学部附属病院	血液浄化療法部診療助教	16年
選択	辻尚子	浜松医科大学医学部附属病院	血液浄化療法部診療助教	16年
選択	花田充	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任講師	21年
選択	片橋尚子	浜松医科大学医学部附属病院	卒後教育センター特任助教	14年
選択	小野孝明	浜松医科大学医学部附属病院	輸血細胞治療部准教授	26年
選択	小田切圭一	浜松医科大学医学部附属病院	臨床研究センター准教授	25年
選択	安井秀樹	浜松医科大学医学部附属病院	臨床研究センター特任講師	20年

選択	鈴木明	浜松医科大学医学部附属病院	医療安全管理室特任准教授	32年
選択	栗田忠代士	浜松医科大学医学部附属病院	手術部准教授	33年
選択	大澤恵	浜松医科大学医学部附属病院	光学医療診療部講師	30年
選択	山田貴教	浜松医科大学医学部附属病院	光学医療診療部特任助教	24年
選択	古橋一樹	浜松医科大学医学部附属病院	感染制御センター特任講師	22年

4 プログラムの管理運営体制

- (1) 磐田市立総合病院、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設は、臨床研修管理委員会を設置し、研修プログラムの管理運営について委任する。
- (2) 臨床研修管理委員会の委員長は、磐田市立総合病院から選出する。
- (3) 臨床研修管理委員会は、1～2ヶ月に1回開催し、研修プログラムの評価を行い、これに基づき当年度及び次年度のプログラムの計画、立案及び修正を行う。
- (4) 研修プログラムの管理運営については主として磐田市立総合病院の責任の下に行う。
- (5) 磐田市立総合病院はプログラム責任者を、協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設は、研修実施責任者を各々置くものとする。
- (6) 研修管理委員会の組織図は別紙のとおり。

5 定員14人

6 研修医の募集方法 公募（マッチング利用）

7 教育課程

(1) 研修の実施要領

- ア 研修は、合理的、計画的、かつ、総合的に実施されるよう臨床研修管理委員会において計画する。
- イ 研修医は、配属された各科の責任において、指導医のもとに各科プログラムに基づき研修する。
- ウ 研修期間は、2年間とする。

2年間で内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科研修を受け、救急当直に関しては副直として当直医から指導を受ける。

【研修例】

1年次

※**太字**は必修科目。

2年次

※**太字**は必修科目。

※救急の当直については、副直医とし、内科系、外科系2人の医師と共に勤務する。

※精神科は、菊川市立総合病院、福田西病院、服部病院又は磐田原病院で研修を行う。

※地域医療は、公立森町病院、森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センター、磐田在宅医療クリニック、えん在宅医療クリニックで研修を行う。

(2) 研修内容と到達目標

ア 研修内容

医師として初期研修の1つの目標として、厚生労働省の初期臨床研修の到達目標を是非とも身に付けるものとする。

【必修科目】

(内科)

主として病棟において5人～10人の患者を受け持ち、当院のカリキュラムに基づい

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オリエンテーション	内科 (糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、血液内科を各科1月以上) 磐田市立総合病院							外科 2月 磐田市立総合病院		救急科 2月 磐田市立総合病院	

て、内科疾患に関する診療技術と知識を学ぶ。

内科系の消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、血液内科及び糖尿病内・分泌内科の7部門の研修を原則とする。尚、一般外来は内科研修中に概ね週0.5日程度とする。

(救急部門)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小児科 2月 磐田病院	救急 (麻酔) 1月 磐田病院	精神科 1月 協力病院	地域医療 1月 協力病院	産婦人科 1月 磐田病院	選択科目 6月 磐田市立総合病院 又は協力病院						

救命救急センター専従期間は最低2ヶ月以上とし、専従期間以外の時間内救急担当(半日を1単位として1回/週)と副直(宿直3回/月、日直1回/月)を24ヶ月間行うこと

により、2年間に合計3ヶ月の研修期間とする。

時間内の研修体制は救命救急センターにて、2名の救急専門医の指導の下に内科系・外科系の区別なく1～3次救急患者を1・2年目研修医が原則ペアで初期診療、トリアージ、帰宅・入院決定を行う。

時間外においては、内科系1名、外科系1名の宿直・当直医の指導の下、2名の初期研修医（原則1・2年目のペア）が初期診療、トリアージ、帰宅・入院決定を行う。

（地域医療）

研修期間は1か月程度とし、地域の菊川家庭医療センター、森町家庭医療クリニック、御前崎市家庭医療センター、公立森町病院にて、地域医療の実践（入院診療、外来診療、救急診療）、在宅医療の業務を研修する。尚、一般外来は地域医療研修中に概ね2週、在宅医療は概ね週0.5日程度行う。

（外科）

共通到達目標を達成すべく作成された外科研修プログラムに基づき、一般・腹部外科、血管外科、呼吸器外科を中心として、一般臨床科医として要求される外科疾患の診断・治療に必要な基本的な外科知識・技能・態度を修得する。また、研修では、5人～10人の患者を受け持ち、外科全般にわたる幅広い知識・技能・態度及び外来診療法を修得する。

尚、一般外来は外科研修中に概ね週0.5日程度とする。

以上の外科研修を通じて、インフォームド・コンセントの重要性を知り、外科的疾患の理解、諸検査の立案及び理解、手術適応及び手術内容の把握に努め、手術及び術前・術後管理を実践し、更に末期患者の管理・対応をも体得し、外科疾患を有する患者に対する全人的医療の修得を目指す。

（小児科）

- a 主に外来診療を中心に、重要性の高い疾患の診断及び治療ができるようにする。
- b 小児の採血、点滴などの一般的処置ができるようにする。
- c 痙攣発作や喘息などの一般的処置ができるようにする。
- d 乳児検診などを中心に、小児の正常な身体と精神の発達を理解する。
- e 指導医のもとで入院患者の治療に当たる。

尚、一般外来は小兒科研修中に概ね週0.5日程度とする。

（産婦人科）

妊娠から分娩に至る過程や心理について患者を通して実践的に学び、さらにこれら妊娠、分娩に関連した症例を診察し、特有の疾患及び病態を理解する。また、産科関連の救

急患者を診察し、その特徴や処置について理解する。

(精神科)

痴呆、うつ病、統合失調症の患者を通じ、精神疾患の捉え方の基本を身に付け、精神疾患に対する初期的対応と治療の実際を学ぶ。

(麻酔科)

麻酔科研修中に気道確保、静脈穿刺、呼吸管理を学ぶ。

(剖検)

すべての研修医に以下の研修を義務付ける。

- a 2年の研修期間のうちに最少1例の剖検を見学又は介助する。
- b 2年の研修期間のうち可能な限り受け持ち患者の剖検を経験し、病理担当医師の指導のもと、年間10回以上開催されているCPCにて症例呈示を行う。

イ 到達目標

- a 卒後臨床研修到達目標達成度評価表（研修医用・指導医・医師以外の医療職種用）
研修医評価表（Ⅰ～Ⅲ）（厚生労働省）
- b 臨床研修の目標の到達達成度判定表と週間スケジュール
- c 研修医自己評価チェックシート
- d 研修医からのプログラム評価

(3) 教育に関する行事

ア オリエンテーション

1年次研修開始時に4週間にわたり下記の研修を義務とする。

- ① 病院長、プログラム指導責任者及び病院総務課からのオリエンテーション
 - ・ 当院の基本理念、基本方針及び病院の使命
 - ・ 臨床研修に対する姿勢
 - ・ 医師の義務とチーム医療
 - ・ 医療倫理
 - ・ 医療安全について
 - ・ 公務員としての心得、地方公務員法の概要、サービス、勤務条件等
 - ・ 病院の経営及び財務の状況
- ② 下記部門の見学と研修
 - a 医事課及び医療情報管理室他
 - ・ 診療報酬請求の概要の理解
 - ・ オーダリングシステムの概要と理解

- ・診療録管理の概要
 - ・診断書等の記載方法
 - ・紹介状の返書の取扱方法
 - ・感染症の届出方法の理解
 - ・特定疾患、身体障害者、公的扶助等の制度の理解
 - ・介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設等の理解
 - ・医療相談業務
- b 臨床検査科
- ・静脈採血とテープ法による尿検査の実習
 - ・臨床検査の検体採取と管理
 - ・血液ガス分析と心電図記録の実習
 - ・血液培養を含む細菌検査検体採取
 - ・抗酸菌染色体等の実習と鏡検
- (病理部門)
- ・組織検査と細胞診検査の提出方法の修得
 - ・剖検依頼の際の注意事項の修得
 - ・病理組織標本作成手順の理解と材料の提出方法の修得
 - ・剖検の意義や依頼の方法の修得
 - ・可能な場合、包埋、薄切、染色作業の実習
- c 放射線技術科
- ・各種放射線検査、MRI、放射線治療の見学と理解
 - ・検査依頼法の修得
- d リハビリテーション技術科
- ・リハビリテーション概論
- ・見学
 - ・PT, OT, ST への依頼法の修得
- e 臨床工学科
- ・ME 機器中央管理の運用と機種理解
 - ・各種血液洗浄化の依頼法の修得
- f 薬剤部
- ・処方入力の修得
 - ・院内服薬指導の理解
 - ・血液製剤指示
 - ・麻薬法制、薬剤副作用の検索
 - ・治験審査
- g 看護部

- ・看護部の組織、理念、目標
- ・看護師、看護補助員の業務の理解
 - ・看護体制
 - ・病棟管理

イ 全科カンファレンス等（全研修医の出席を義務とする）

- （ア）院内研修会 年12回
- （イ）院内講演会 不定期
- （ウ）C P C 年10回

ウ 研修医カンファレンス（全研修医の出席を義務とする）

- （ア）新患カンファレンス（3回/週）
- （イ）救急カンファレンス（3回/週）
- （ウ）研修医向けレクチャー（2～3回/月）
- （エ）身体診察・臨床推論レクチャー（1回/週）
- （オ）読影カンファレンス（1回/2ヶ月）
- （カ）個別面接（2回/年）

研修の進捗状況の確認、メンタルヘルスのチェック、進路相談等を行なう。

エ 各科カンファレンス等

各科及び各科関連カンファレンス等は、別紙のとおりであり、研修科のカンファレンス等には出席を義務付ける。

オ 救命処置講習会

BLS, ICLS, JMECC等の救命処置講習会の出席を義務付ける。

(4) 指導体制

- ア 研修医1人に対して指導医1人の教育体制を原則とする。
- イ 研修医は、関係する専門医の指導を随時受けることができる。
- ウ 指導医は、研修医に教育上必要な数の入院患者を受け持たせる。
- エ 研修医を受け入れる科の職員は、研修医の教育に積極的に協力する義務を負う。
- オ 研修医の所属する科以外の科においても共通到達目標を達成するために必要な検査、処置、治療手技が予定されている場合、配属科科长の了解を得て研修医にそれらを経験させるよう努力する。
- カ 副直、救急では2年目研修医が直接指導に当たる（屋根瓦方式）。

8 研修医の評価

- (1) 各診療科の研修修了時に、研修医が臨床研修到達目標達成度自己評価表（別添）に基づき自己評価を行いプログラム責任者に提出する。
- (2) 各診療科の研修修了時に、各科指導責任者がEPOC内の研修医評価表（Ⅰ～Ⅲ）に基づき研修医の評価を行いプログラム責任者に提出する。
- (3) 各診療科の研修修了時に、各科看護師長がEPOC内の研修医評価表（Ⅰ～Ⅲ）に基づき研修医の評価を行いプログラム責任者に提出する。

(4) 年2～3回行われる研修医個別面談時に、上記の評価表に基づきプログラム責任者が各研修医に対して形成的評価を行う。

(5) 初期研修2年修了時に上記評価表に基づきプログラム責任者が総合的評価を行い、その結果について臨床研修委員会で報告・検討し各研修医の総括的評価を行う。

9 研修プログラム、指導医の評価

(1) 各診療科の研修修了時に、研修医が研修医による指導医の評価（EPOC内の研修医評価表（Ⅰ～Ⅲ））に基づき指導医・研修科の評価を行いプログラム責任者に提出する。

(2) 各診療科に対する評価をプログラム責任者がチェックし、早急な改善が必要な事項については翌月の臨床研修委員会に報告し、各科に改善の申し出を行う。

(3) 初期研修2年修了時に、プログラム責任者が上記評価の結果を診療科ごとに取りまとめレポートを作成し各科に結果をフィードバックし、指導方法・環境の改善を促す。

10 プログラム修了の認定及び証書の交付

臨床研修管理委員会は、研修医の自己申告及び各科指導責任者の評価（EPOC内の研修医評価表（Ⅰ～Ⅲ））及び各病院の研修委員の意見により、到達目標が達成されたことを確認し、認定する。これに基づき病院長は、研修医にこのプログラムを修了したことを記した「修了証書」を授与する。

11 プログラム修了後の進路

2年間の研修修了後の進路は、引き続き当院の志望科で3年目の後期研修プログラムを選択し、次いで正規医師として採用されるか出身大学又は関連大学（名古屋大学、浜松医科大学、名古屋市立大学、滋賀医科大学など）に勤務するなどの進路がある。具体的には、病院長、研修指導責任者、指導医の助言及び協議のもとに決定する。また、次の研修施設に認定されているため、引き続き採用された場合には、認定医、専門医の資格取得が可能である。

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本リウマチ学会教育施設

日本血液学会認定医研修施設

日本透析医学会認定医制度認定施設

日本神経学会専門医制度教育関連施設

日本呼吸器学会認定施設

日本呼吸器内視鏡学会認定医制度認定施設

日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本外科学会認定医制度修練施設
日本外科学会専門医制度修練施設
日本乳癌学会研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本肝臓学会関連施設
日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 B
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本胸部外科学会認定医認定制度関連施設
日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
呼吸器外科専門医認定機構関連施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設（A項）
日本麻酔学会麻酔指導病院
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本病理学会登録施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本アレルギー学会認定教育施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
日本周産期新生児医学会周産期専門医暫定研修施設
日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼動施設
救急科専門医指定施設
小児科専門医研修施設
日本栄養療法推進協議会 NST 稼動施設
日本感染症学会認定研修施設
日本放射線腫瘍学会認定協力施設

1 2 研修医の身分

- (1) 常勤の会計年度任用職員とする。
- (2) 給与等（令和5年4月現在）
 - ア 給 料
 - 1年目 466,104円
 - 2年目 472,415円
 - イ 賞 与
 - 年間 2.45月
 - ウ その他の手当
 - 地域手当、医務手当、時間外勤務手当、通勤手当
- (3) 研修医の勤務時間など
 - ア 勤務時間 午前8時15分から午後5時まで（勤務時間外に研修を行う場合がある。）
 - イ 休 暇 休日は、土曜日、日曜日、法令に定める休日及び年末年始とする。
 - ウ 当 直 副直医とし、内科系、外科系2人の医師と共に勤務する。
 - エ 特別休暇 産前・産後休暇など
 - 産前休暇：8週間（多胎妊娠の場合は10週間）
 - 産後休暇：8週間
- (4) 院内保育園 有（保育時間7：45から19：45）
- (5) 宿 舎 有（8戸）

病院敷地内、徒歩1分、2LDK、オール電化、家賃18,000円、築12年、駐車場あり。その他45,000円を上限に家賃補助制度あり。
- (6) 研修医室 有
- (7) 市町村共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険に加入
- (8) 健康管理 健康診断を年2回実施
- (9) 医師賠償責任保険
病院で加入するため、研修医個人で加入する必要はない。
- (10) 学会等への参加の取扱い
2年次の研修医については、年間5万円を限度として認める。
※ 事前に参加する学会等の内容がわかる書類を病院総務課へ提出し、事後に復命書を作成し、指導医、病院長等へ報告する。
- (11) 禁止事項 研修医の「アルバイト」は禁止する。

1 3 研修医の応募手続

(1) 応募先

〒 4 3 8 - 8 5 5 0 静岡県磐田市大久保 5 1 2 番地 3

磐田市立総合病院 教育研修室

電 話 0 5 3 8 - 3 8 - 5 0 7 6 FAX 0 5 3 8 - 3 8 - 5 0 5 0

e-mail: byoin-kenshu@city.iwatalg.jp

URL <http://www.hospital.iwata.shizuoka.jp/>

(2) 出願手続

出願締切 マッチングシステムによる場合 試験日の2週間前まで
マッチングシステム以外の募集については後日掲載

出願書類 履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書、健康診断書

(3) 研修開始日 令和7年4月1日

(4) 選考方法

書類審査、面接、小論文

面接日 マッチングシステムによる場合

令和6年8月

マッチングシステム以外の募集については後日掲載

別紙1

臨床研修管理委員会

- 委員長 妹川 史朗（臨床研修センター長、プログラム責任者、副病院長）
副委員長 坂口 孝宣（副病院長）
副委員長 西野 眞史（第1医療部副部長）
委員 深澤 洋敬（臨床研修副センター長、副プログラム責任者、第1医療部長）
委員 山崎 薫（病院長）
委員 遠藤 彰（副病院長）
委員 栗田 恵子（副病院長兼事務部長）
委員 松永 正紀（理事）
委員 徳永 直樹（第2医療部副部長）
委員 山口 昌一（第3医療部副部長）
委員 藤本 雄大（歯科口腔外科科長）
委員 一谷 真一（救急救命センター長）
委員 川端 俊貴（臨床研修センター副センター長）
委員 太田 敦代（薬剤部長）
委員 瀬川 明子（副看護部長）
委員 森田 洋一（副看護師長）
委員 若尾 和孝（病院総務課人事管理グループ長）
委員 西藤 文孝（病院総務課教育研修室長）
委員 二見 肇（菊川市立総合病院副病院長）
委員 中村 昌樹（公立森町病院院長）
委員 松田 真和（菊川家庭医療センター）
委員 棚橋 信子（森町家庭医療クリニック）
委員 吉野 弘（御前崎家庭医療センター）
委員 福本 和彦（磐田在宅医療クリニック）
委員 安間 章裕（えん在宅医療クリニック）
委員 竹内 浩視（浜松医科大学附属病院特任教授）
委員 山口 貴弘（磐周歯科医師会理事）※外部委員
委員 三輪 邦子（地域医療いわた）※外部委員
委員 1年目研修医
委員 2年目研修医

別紙2

1 各科カンファレンス

1	脳神経外科症例検討会	2	内科症例検討会
3	脳神経外科・リハビリテーション科合同カンファレンス	4	消化器科カンファレンス
5	消化器カンファレンス	6	消化器科・外科・病理科カンファレンス
7	呼吸器カンファレンス	8	外科カンファレンス
9	病診連携カンファレンス	10	神経内科症例検討会
11	産婦人科院内症例検討会	12	呼吸器・循環器カンファレンス
13	癌カンファレンス	14	院内循環器カンファレンス
15	周産期カンファレンス	16	CPC
17	放射線科カンファレンス	18	症例検討会（内科・腎内科）
19	呼吸器研修会	20	小児科勉強会
21	病棟カンファレンス（泌尿器科）	22	リハビリテーションカンファレンス
23	外来カンファレンス（泌尿器科）	24	眼科症例検討会
25	N S T 勉強会	26	救急事例検討会

2 各科関連カンファレンス

1	中遠脳神経外科カンファレンス	2	静岡県リウマチ治療研究会
3	静岡県脳神経外科集談会	4	静岡県血液・免疫疾患治療研究会
5	静岡県脳神経外科懇話会	6	静岡県リウマチ懇話会
7	静岡病理会	8	静岡県臨床免疫懇話会
9	東海病理会	10	磐田消化器検討会
11	産医会（地区産婦人科医会）	12	3院検討会（消化器科）
13	浜松医科大学産婦人科医局リサーチカンファレンス	14	中遠消化器症例検討会
15	浜松神経画像カンファレンス	16	静岡県外科疾患研究会
17	浜松血管造影勉強会	18	静岡県胆膵研究会
19	磐田心肺	20	静岡血管外科懇話会
21	静岡腎セミナー	22	静岡県外科医会県談会
23	西部血液浄化療法研究会	24	静岡県総合画像診断研究会
25	静岡県西部麻酔・集中治療懇話会	26	静岡びまん性肺疾患研究会
27	中東遠麻酔科症例検討会	28	浜松胆膵疾患勉強会
29	中東遠泌尿器科カンファレンス	30	静岡皮膚病カンファレンス
31	磐田心肺カンファレンス	32	大学関連病院皮膚科カンファレンス
33	中東呼吸器カンファレンス	34	磐田皮膚科集団
35	西部胸部疾患懇話会	36	磐田小児症例検討会

37	静岡呼吸器感染症研究会	38	磐田小児漢方研究会
39	コメディカルとの合同検討会	40	中東循環器カンファレンス
41	磐田袋井労災循環器カンファレンス	42	浜松循環器カンファレンス